

スムーズな授業進行のために充電ステーションの設置

課題

- 授業用端末の保管庫の管理
(保管庫でタブレットを出し入れする際に時間がかかる)
- 授業用端末のバッテリー切れや充電不良

解決策

充電ステーションの導入でバッテリー切れの心配がなくなり、スムーズな授業進行が可能に

導入写真



苓北町立志岐小学校に充電ステーション『crevio』を設置
バッテリー切れの心配がなくなり、生徒も先生も安心して授業に臨め、学習がスムーズに進みます。

導入製品



crevio®

TLP125LFP-5S

- 安全・長寿命。リン酸鉄バッテリーを使用
- 最大6年間。安心の保証サポート
- ノートパソコン・タブレット対応。
高出力・大容量バッテリー（容量：18,000mAh）
- 置くだけでラクラク。「接点式」の充電ステーション



苓北町立志岐小学校会議室にて、充電ステーションの導入についてインタビューを行いました。

1.導入前に直面していた課題

タブレット導入にあたり、最大の懸念は充電と保管庫の管理運用でした。特にバッテリー切れや充電不良は深刻で、授業直前に端末が使えないと、その対応のためにクラス全体の「学び」が止まってしまうからです。また、低学年の児童にとって重い保管庫への出し入れは負担が大きく、準備に時間を要していました。



2.導入後に実感した具体的な効果

『crevio』の導入により、教師も児童もストレスなく端末を活用できるようになりました。管理がシンプルで、充電状況をひと目で把握できる点は現場から高く評価されています。バッテリーの不安が消えたことで、先生は管理に煩わされず授業に集中でき、児童も「使えないかもしれない」という不安から解放され安心して学習に臨んでいます。STEAM教育による長時間の利用や、CBT化（コンピュータを使用したテスト）においても、安定した給電が「止まらない学び」を支えています。

3.今後の期待

家庭の通信環境などによる学習格差をなくすためにも、場所を問わず活用できる「止まらない学び」の環境づくりが急務です。今後は、出し入れの手間がかかる「固定式保管庫」に依存しない、より機動的な運用スタイルを追求してほしいと考えています。モバイルバッテリーの強みを活かし、児童が電源を意識することなく、教室のどこでも直感的に端末を使いこなせるようなシンプルで自由度の高い給電ソリューションを多摩電子工業には期待しています。将来的には非接触充電のような、さらに利便性を高めた製品で教育現場を支えてくれることを願っています。

